

帝塚山・万代池で観察された生き物の記録 コース No.18

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。出現種は植栽以外の記録です。

1：配偶体、葉、卵 2：孢子体未成熟、花、幼虫、幼鳥 3：孢子体成熟、果実 蛹 4：枯死（休眠）、実生、成虫、成鳥

0：孢子、無性芽、その他 植：植栽 植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草：ウラジロチチコグサ、エノコログサ、オオアレチノギク、オッタチカタバミ、オヒシバ、カタバミ、コニシキソウ、コメヒシバ、セイタカアワダチソウ、チチコグサモドキ、ツユクサ、ノゲシ、ヒメムカシヨモギ、ヘクソカズラ、ホトケノザ、マメゲンバイナズナ、ムラサキカタバミ、メヒシバ、ヨモギ

日時：2019年11月10日 10:00~15:00 天候：晴れ

調査者：岩永圭司 木山正隆 北川ちえこ 竹原秀樹 中谷憲一 中西有美 林耕太

榎元慶子 吉川順子 一般参加者：0名 事務局：古曾志まり子

場所：エリア・マップNo.2,3

コメント：帝塚山古墳は樹木や草が刈られ砂山のような感じでした。その外周も建物の入れ代りがあったのか雰囲気が変わっていて（自分達の記憶が間違っていたのか）以前歩いた道を間違えてしまいました。帝塚山駅から万代池は変わっておらず、前回と同じような植物が見られました。万代池は季節にふさわしく色んな草木が見られましたが、カモなどはまだ少ないように思いました。トビックは昼食中にオオタカが低く近づいてはっきり姿を見られたことです。ハトやスズメが近くに来なかったのもそのせいだったのでしょうか。

